

ばん
こども版



ちょう けい かく
おおい町こども計画

れいわ ねんど 令和8年度 >>>>>> れいわ ねんど 令和11年度



かがや うみ やま わかもの しあわ
きらきら輝く海と山 こども・若者の幸せはぐくみ
えがお
みんなの笑顔があふれるまち おおい

れいわ ねん がつ ちょう
令和8年3月 おおい町



1 この計画について



こども計画ってなあに？

おい町では、こどもや若者の考えを大切にしつつ、みなさんが元気に成長し、幸せに暮らせるまちをつかっていくために、この計画をつくりました。これからみなさんの意見も取り入れながら、いろいろな取り組みをすすめていきます。

計画の対象は？

この計画は、おい町に住むすべてのこども・若者、子育てをする人、それらを支援する機関や団体などを対象としています。

けいかく たいしょう
計画の対象



がっこう かよ まえ
学校に通う前のこども

しょうがくせい
小学生、
ちゅうがくせい こうこうせい ねんだい
中学生、高校生の年代

わかもの さい
若者 (~ 39歳)、
こそだ ひと
子育てをする人

「こどもの権利」って？

「こどもの権利」はとても大事なものであり、みなさん一人ひとりが生まれた時からもっているものです。

こどもの権利には、大きく分けて4つの原則があるよ。



差別のないこと

- すべてのこどもは、国籍・性別・障がいの有無・考え方などどんな理由でも差別されない

こどもにとって最もよいこと

- こどもに関する取り組みは、こどもにとって一番よいことを考える

命を守られ成長できること

- すべてのこどもの命が守られる
- 自分らしくのびのびと成長することができる

意見を表明し参加できること

- 自由に意見を言ったり、表現することができる

ちよう げんじよう おおい町の現状



けっか しょうかい
アンケートの結果などを紹介するよ。

せいさく かん ぎようせい じぶん いけん
こども政策に関して行政に自分の意見が
き 聴いてもらえていると思いますか



おも
思う

やく 約 28%

おも
思わない

やく 約 35%

おも かんが ひと おお けっか
「思わない」と考える人がやや多い結果でした。
まち じゃはこれからみなさんの いけん ほうほう き
き きたいと考えています。

わかもの ちよう ひつよう と く
こども・若者のために、おおい町に必要な取り組み

だい 1 位 わかもの はたら はたら ばしよ ふ
若者が働ける / 働きやすい場所を増やす

だい 2 位 かね しんばい まな しんがく じゆく い
お金の心配をすることがなく学べる (進学・塾に行く)

だい 3 位 わかもの じゆう す いばしよ ふ
こどもや若者が自由に過ごせる居場所を増やす

しょうらい きぼう かな す つづ
みなさんの将来の希望が叶えられるまちづくり、住み続けたいと
おも 思ってもらえるまちづくりをすすめていきます。

ヤングケアラーを
し 知っていますか

し 知っている・
き 聞いたことがある

やく 約 31%

き 聞いたことがない

やく 約 67%



ちよう ひと
おおい町ではヤングケアラーを「聞いたことがない」人がたくさんいました。
これからみなさんにヤングケアラーのことを知ってもらえるような機会をつ
くっていきます。

ほんらいおとな かじ かぞく せわ
ヤングケアラーとは、本来大人がするとされている家事や家族のお世話など
にちじょうてき により、こども自身がやりたいことができな
いなど、こども自身の権利が守られていないと思われるこどものことです。

2 町が取り組むこと

基本理念

かがや うみ やま
きらきら輝く海と山
わかもの しあわ
子ども・若者の幸せはぐくみ
えがお
みんなの笑顔があふれるまち おおい



基本目標 1

「子どもまんなか社会」の
実現に向けた支援

子ども・若者の権利の保障と意見表明

みなさんが意見を言える場や機会をつくれます。

地域で子ども・若者を支える体制づくり

みなさんが気軽に歩いて、安心して過ごすことのできる居場所づくりやみなさんを支える体制づくりをすすめます。

基本目標 2

子ども・若者の
健やかな育ちを支援、
夢や希望を叶えるための支援

切れ目のない支援の推進

年齢に応じた途切れることのない支援をおこないます。

子ども・若者の希望に応じた
選択を支える支援

みなさんが将来の夢や希望を叶えられるような取り組みをすすめます。

若者の定着支援

若者に住み続けてもらえるような地域づくりをおこないます。

基本目標 3

誰一人取り残さないための支援

困りごとを抱える
子ども・若者への支援

困りごとを抱え、支援が必要な子どもや若者に対して、相談をおこなうなど、それぞれの状況に応じて支援します。

子どもの貧困対策

安定した生活を守り、経済状況などによってやりたいことなどをあきらめたりすることのないように、さまざまな支援をおこないます。